

父、帰る (2003)

VOZVRASHCHENIYE
THE RETURN

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 ロシア

色彩 Color

時間 111分

初公開日 2004/09/11

公開情報 アスミック・エース

【キャッチコピー】

なんで今さら帰ってきたんだ

【解説】

2003年のヴェネチア国際映画祭で絶賛され最高賞の金獅子賞と新人監督賞をダブル受賞する快挙を果たしたアンドレイ・ズビャギンツェフ監督による静謐で衝撃的な人間ドラマ。12年ぶりに突然帰郷してきた父親を前に、事情も呑み込めず戸惑うばかりの兄弟の姿を、謎を秘めた緊張感溢れる語り口で綴り、親子の間の絆や葛藤を鮮やかに描き出す。なお、本作撮影終了後、ロケ地だった湖で兄アンドレイ役のウラジーミル・ガーリンが不慮の事故で溺死する不幸な出来事があった。

ロシアの片田舎。2人の兄弟、アンドレイとイワンは母とつつましくも幸せに暮らしていた。父親は12年前に家を出て行ったきり音信不通。兄弟は写真でしか父の顔を知らなかった。そんなある夏の日、父が突然家に帰ってきた。寡黙な父はこれまでのことを何も語ろうとはせず、母も事情を説明しようとはしない。兄弟の戸惑いをよそに、翌朝父は彼らを小旅行に連れ出す。道中、父は子どもたちに対し高圧的に振る舞う。そんな理不尽な接し方にも、父を慕い続ける兄に対し、弟のほうは徐々に反抗心を募らせていくのだった…。

【クレジット】

監督	アンドレイ・ズビャギンツェフ	Andrei Zvyagintsev	
製作	ドミトリイ・レスネフスキー	Dmitri Lesnevsky	
製作総指揮	エレナ・コワリョワ	Yelena Kovalyova	
脚本	ウラジーミル・モイセエンコ	Vladimir Moiseyenko	
	アレクサンドル・ノヴォトツキー	Aleksandr Novototsky	
撮影	ミハイル・クリチマン	Mikhail Krichman	
音楽	アンドレイ・デルガチョフ	Andrei Dergachyov	
出演	イワン・ドブロヌラヴォフ	Ivan Dobronravov	弟イワン
	ウラジーミル・ガーリン	Vladimir Garin	兄アンドレイ
	コンスタンチン・ラヴロネンコ	Konstantin Lavronenko	父
	ナタリヤ・ヴドヴィナ	Natalya Vdovina	